



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第192号 (平成 30 年 6 月 5 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 「平成29年度森林・林業白書」の公表
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(133)
- 3 <森林・林業白書から> レブンアツモリソウの保護増殖
- 4 <樹をとりまくはなし>(13) ナイーブな馬
- 5 <イベント情報>
 - ◆「山の日」記念 水源の森を訪ねる -多摩水源の村 小菅-
 - ☆ 事務局から

~~~~~

森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>  
 ~~~~~

1 <林野庁プレスリリースから> 「平成 29 年度森林・林業白書」の公表について

平成30年6月1日、「平成 29 年度森林及び林業の動向」及び「平成 30 年度森林及び林業施策」(「平成 29 年度森林・林業白書」)が、国会提出案件として閣議決定されました。

「平成 29 年度森林・林業白書」の概要

森林・林業白書は、森林・林業基本法に基づき、政府が毎年作成して国会に提出するもので、森林・林業の動向と政府の施策について記述しています。

「平成 29 年度森林・林業白書」においては、特集として、「新たな森林管理システムの構築」をテーマに、我が国の森林管理をめぐる課題や、「新たな森林管理システム」の構築の必要性、方向性等について記述しています。

なお、「平成 29 年度森林・林業白書」は以下の URL で御覧になれます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/index.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(133)

北海道北広島市の森のようちえん活動に参加してきました。この幼稚園は、園で森を所有しているので、園児は自由に森で活動できます。この日は年長園児ががけ登りに夢中です。木につかまらなるとズルズル滑り落ちる急斜面をひたすら登っていま

す！ごろごろ落ちる園児もいます(驚)。実は前回の活動でシカのツノが1つ落ちていたのです。園児たちは「1つ落ちていたということは、もう1つあるはずだ！」と考えています。この目的が行動を支えています。登り始めた園児たちは、登りきりたいという欲求に変化してきています。園児たちの周りにはマイヅルソウやクルマバソウのかわいらしい花が咲いていますが、気づきません！真っ直ぐ上を見て、手元を見て、足下を見て登っています。そして滑り落ちます・・・登りきって達成感を味わい、ふと周りを見るとかわいらしい花に気づくのでしょうか！以上、森のようちえん報告まで！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> レブンアツモリソウの保護増殖

北海道の礼文島のみには生育するレブンアツモリソウは、絶滅が危惧されていることから、平成8(1996)年から農林水産省と環境省が共同で保護増殖事業を実施している。礼文島最大の群生地である鉄府地区 30ha においては、個体数を把握するため、無人航空機等を用いた写真判読による生育個体数推定の調査を、平成 24(2012)年度から平成 27(2015)年度まで実施し、生育株数を約 4,300 株と推定し、その結果を公表した。

また、保護増殖事業の実施に当たっては、レブンアツモリソウが自然状態で安定的に存続できる状態を長期的な目標とした上で、北海道森林管理局では、環境省北海道地方環境事務所及び礼文町と共同で、平成 28(2016)年 11 月に「レブンアツモリソウ保護増殖ロードマップ」を策定し、10 年間の中期目標と管理計画を定め、より効果的に事業を展開することとした。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(13) ナイーブな馬

昔ある乗馬クラブで樹木調査をしました。馬はとてもナイーブで「音など立てないで欲しい」と強く言われ、私たちは静かに作業をしていました。コンベックスを伸ばして枝張りを測ると「パキパキ」と金属音がします。その音がするたびに馬がびくつとして、乗馬クラブの人が怒って走ってきます。「音をさせないでって言ったでしょう！馬が驚いて乗っている人が落馬したらどうするんですか！」私たちはこの音も駄目だったんだと反省し、ビニール製の巻尺に変え、作業を再開しました。しかし、今度は巻尺のテープがひらひらするのが気になるらしく、馬が寄ってきます。またまた乗馬クラブの人が血相変えてやってきて「何やってるんですか！困ります！」と怒られました。結局その日は調査中止になり、乗馬クラブが休みの日に調査することになりました。乗馬クラブの人は我々がやることを知らず、我々は馬を知らなかったというわけです。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

◆「山の日」記念 水源の森を訪ねる ー多摩水源の村 小菅ー

◆「山の日」記念 水源の森を訪ねる ー多摩水源の村 小菅ー

「山の日」を記念して、山梨県小菅村において、多摩源流の小菅川沿いの森林散策及び宮林茂幸東京農業大学教授による記念講演会を開催します。

- 開催日 平成30年8月8日(木)
- 場所 森林散策:山梨県小菅村小菅川溪流沿いの森林
宮林茂幸東京農業大学教授による記念講演:小菅村立小菅中学校体育館
- 集合 JR 大月駅前 午前9時10分
- 解散 JR 大月駅前 午後4時20分予定
- 参加費 1,500 円(弁当及び保険料を含みます。)
小菅産の特産品等を使用した弁当を用意いたします。
- 募集人員 100 名
- 主催 「山の日」記念行事実行委員会
(一財)日本森林林業振興会、(一社)全国森林レクリエーション協会、
(一社)日本森林インストラクター会)
- 応募方法 下記の URL の WEB をご覧ください。WEB から応募用紙をダウンロードし、
応募用紙に必要事項を記入して、(一社)全国森林レクリエーション協会まで
FAX または郵送するか、氏名、年齢、性別、連絡先(住所、電話番号、メール
アドレス)、参加人数、同伴者名をメールでお送りください。
- 問い合わせ・申し込み先
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル
全国森林レクリエーション協会
TEL 03-5840-7471
FAX 03-5840-7472
info@shinrinreku.jp

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

今年も、当協会と(一財)日本森林林業振興会、(一社)日本森林インストラクター協会
とで構成する「山の日」記念行事実行委員会主催によるイベントを8月8日に開催する
ことになりました。初年度は高尾山において、三浦雄一郎氏と登山を行いました。昨年
は、足尾において、森林再生の現状を観察しました。3回目の今年は、「森林の恵み」
である水と「森林の恵み」とともに生きる山村をテーマに山梨県小菅村で開催します。

皆様の参加をお待ちしています。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局  
TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail:[feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)  
URL:<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

